

十時通信

まちを楽しむ・みどりを楽しむ
—下保谷旧高橋家から考える学びと暮らし—

—2026・第6号topic—

- ・令和7年度季節イベントと一般開放
- ・ヤシキリン勉強会を実施しました
- ・みどりと学びの実証プロジェクトでイベントの企画を実施しました
- ・クラウドファンディングを実施しました



令和4年度より、実施している一般開放も4年目となり、今年度は、毎週金曜日の開放となったほか、時間も10時〜16時の6時間と大幅に拡大しました。

毎週金曜日は当地区で活動するボランティア団体「高橋家屋敷林保存会」の活動日でもあり、ボランティア団体がお世話をしている野草園などをより楽しんでいただける開放となったのではないでしようか。冬には気温が大きく下がり、霜柱も見られ、今年も見どころ満載でした。

また、開放日が平日となったことで、近隣の幼稚園や保育園のお散歩コースとなっていたほか、多くのお子さんにご来場いただく年となりました。

年4回開催している季節イベントでは新たに「みどりと学びの実証プロジェクト」を創設し、地域の方々が出展や企画の実施をしやすい環境を整えました。

プロジェクトとしては、お琴体験教室や、アロマクラフトのワークショップ、毎年恒例となっている「あらしき寄席（落語公演会）」、クリスマスバルポール&観音舞など、当地区の自然環境や歴史文化を活



▲夏のイベント時に母屋で実施したお琴の体験教室



▲2月に、野草園で見られた霜柱

一般開放&季節イベントの様子

かした様々な企画を行いました。また、今年度は季節イベント内でヤシキリン勉強会を開催しました。当地区の自然環境を守り、活かし、次世代へ引き継ぐために当地区に関わる方々で有識者をお招きし、一般の方もご参加いただける公演会として開催しました。開催の様子は中の見開きページをご覧ください！

次世代に引き継ごう！ 屋敷林のみどり保全プロジェクト クラウドファンディングを実施しました

「次世代に引き継ごう！屋敷林のみどり保全プロジェクト」クラウドファンディング目標達成 ご支援ありがとうございました。
令和7年11月1日～令和8年1月31日で実施したクラウドファンディングでは、市内外の多くの方からご支援をいただきました。都市化がすすむ駅周辺の貴重なみどりを将来に継承していきたいという思いが、一つになり目標を達成することができました。実施結果の報告とともに心より感謝申し上げます。

寄附金額

支援金額 **2,138,000 円**
(目標金額 1,700,000 円)

目的

当地区の魅力である屋敷林を構成する樹木の中には枯れていたり、大きくなりすぎて危険な樹木があります。それらの適切な剪定を行うことで、当地区の自然環境を維持することを目的にクラウドファンディングを実施しました。



▲敷地外に越境している枝の剪定の様子



▲枯れて落枝や倒木の危険がある樹木の剪定の様子

ご寄附いただいた皆様！ありがとうございました！

■寄附者一覧（敬称略）

企業・団体		個人
西東京市清掃事業協同組合	株式会社 スプラッシュ	溝口 雅彦
一般社団法人公園とまちづくり	株式会社 芝正園	太田 照子
代表理事 高井 謙	植島植木 有限会社	成田 弘子
有限会社 瀬川工業所	新光緑化建設 株式会社	君島 直子
東多摩再資源化事業協同組合	株式会社 都築園	菊屋 美恵子
株式会社 アシスタ	株式会社 尾林造園	酒井 詩織
株式会社 G・I・M 代表取締役 宮崎 研多	尾林緑化 株式会社	大野 さとみ
株式会社 日比谷アメニス	株式会社 保谷園	森主 一央
代表取締役 伊藤幸男	株式会社 緑清	土井 太
	蓮見造園	白井 一嘉
		日南田 淳子
		豊田 素行
		玉野 祥範

ヤシキリン通信 第6号

発行：2026年3月 / 西東京のみどり公園課

『ヤシキリン通信』は、市民・専門家・行政らが協働し、下保谷四丁目特別緑地保全地区の活動を通して屋敷林と地域の魅力を発見し、その成果を発信するフリーペーパーです。

令和8年度の一般開放の情報は
下記ホームページからチェック！

※正月等、一部変則的な月もございます。

※開放時の天候や当地区の整備状況によっては開放を中止する場合もございます。詳細は当地区ホームページもしくは、当地区入り口の看板をご覧ください。

当地区のホームページはこちらから⇒



夏のイベント 等 アロマクラフトワークショップ

アロマセラピストのタビネコ堂さんに、イベントでアロマクラフトワークショップを開催いただきました。
好みの香りを選んで混ぜて、虫よけアロマスプレーやミニアロマディフューザー、アロマペンダント等を作れるワークショップ。お子様でも簡単に挑戦でき、イベントに来場された親子で楽しむ姿が見られました！



夏のイベント お琴体験教室

西東京市でお琴の教室を主催している、お琴教室かおんさんに母屋でお琴ワークショップを開催いただきました。
母屋にお琴を並べて、30分で音の鳴らし方を学び、簡単な曲にチャレンジできるワークショップです。かおんの講師であり、お琴の演奏者でもある重成さんには「身近で無くなりつつある和楽器を、もっと近くで親しんでいただきたい」との想いを語っていただきました。当地区の母屋ならではの雰囲気でお琴の音が響いて、とても心安らぐ時間となりました！



秋のイベント あらやしき寄席秋

毎年恒例となりつつある、あらやしき寄席。今年は秋の穏やかな気候の中で、秋にちなんだ古典落語を披露いただきました。
母屋での観覧は落語家さんとの距離が近く、話の展開に合わせて変化する表情や、様々な仕草を思う存分楽しむことができました。
日本文化である落語を、母屋で鑑賞していただくことで、より歴史や文化を身近に感じていただくことのできる機会となりました！



秋のイベント クリスタルボウル&観音舞公演会

屋敷林のみどりに包まれながら、ヒーリングミュージックであるクリスタルボウルと、自身の心と向き合う伝統的な舞である観音舞のコラボ公演会を実施いただきました。
屋外での公演を予定していたものの、当日は天気が優れず母屋内での開催となりましたが、秋のしっとりとした空気の屋敷林の中で響くクリスタルボウルの音色と観音舞の細やかな動きに多くの来場者の方が心を奪われ、自然の中でリラックスする非日常体験を楽しんでいただきました！



「みどりと学びの実証プロジェクト」

下保谷四丁目特別緑地保全地区（旧高橋家屋敷林）は、「緑地の保全活動から生まれる、誰もがみどりを楽しみ、自然を学ぶフィールドミュージアム」を将来像に掲げ、地域の貴重な自然環境や歴史文化を次世代へつなぐ取組を進めています。
本年度のイベントでは、この将来像の実現に向けて、「みどりと学び」をテーマにした新たな取組をともに作りあげる企画パートナーを広く募集し、様々な企画を実施しました！



第1回 ヤシキリン勉強会 in紅葉のイベント

文化を活かす建築の姿—『残す・使う』のかたち

講師：もば建築文化研究所 中村文美氏

講師紹介



札幌市生まれ。平成14年(2002)、東京芸術大学大学院文化財保存学専攻保存修復(建造物)修士課程修了。同研究室非常勤助手、非常勤講師を経て、平成18年(2006)、合同会社もば建築文化研究所を梅田太一と共に設立。
歴史的建造物の保存修理工事の設計監理、保存活用計画作成や、地域の文化遺産を活かした活性化の取り組み支援、文化財保存活用地域計画作成のコンサルなどを行う。

文化的価値を持つ建物は、ただ残すだけでなく、地域の人々に開かれた場として息づかせることができます。本講演では、歴史的建造物の保存改修を専門とするもば建築文化研究所・中村文美氏を講師にお招きし、全国の活用事例を紹介しながら、「文化を活かす建物運用の考え方」や「地域との関わりづくり方」について語っていただきました。
事例としてご紹介いただいたのは、千葉県柏市にある国登録有形文化財でもある「染谷家住宅」、東京都台東区に立地し、同じく国登録有形文化財である「市田邸」等です。これらの事例はどれも、建物及び敷地の一部を公開しており、建物所有者と管理者が異なる中で歴史・文化的な視点から建物を保存・活用している事例でした。
建物の利活用においては、「残す・使う」ための手法に着目し、関係者がどのように協力しているのか、そして公開するエリアを区切りながら部分的に公開する術について具体的な現場で経験したお話をご共有いただきました。
講演会終了後には、イベントに参加した一般の方からも、「自宅が古くどうしよう



▲勉強会の様子

か迷っている」とのお話や、「当地区の母屋を活用して展示会を開きたいと思っている」とのお声もいただき、当地区を中心としながら、西東京市のみどり豊かな歴史文化を「残す、使う」輪が広がってきています。
当地区の母屋は改築されてから、築50年程度です。事例として挙げていただいたような、登録有形文化財建築物は築50年を経過した歴史的な建造物が対象となる制度ですが、当地区の母屋はこれからまさに文化財になっていくような大切な建物なのです。